

日 誌 (昭和 35 年 3 月)

【国 内】

- 2 日 ○第 3 次日ソ貿易支払協定調印
- 10 日 ○政府、昭和 35 年度総合資金需給見通しおよび産業資金供給見込みを発表
- 14 日 ○本行、本邦外国為替銀行の現地貸付等限度額を引上げ
- 17 日 ○本行、アメリカ合衆国通貨表示外国為替引当貸

付利率を引下げ（日歩 1 銭 1 厘を 1 銭へ）

- 31 日 ○昭和 35 年度一般会計、特別会計、政府関係機関各予算成立
- 関税暫定措置法成立（4 月 1 日施行）
- 政府、35 年度上期外貨予算を決定

【海 外】

- 1 日 ○西ドイツ・ブンデスバンク、支払準備率を引上げ、再割引わくを縮小
- ソ連、国営・協同組合商業小売価格の一部を引下げ
- 5 日 ○イタリア、アラブ連合との経済協力協定に調印
- スカルノ・インドネシア大統領、現議会の機能停止と再編を指令
- 9 日 ○低開発国援助特別委員会第 1 回会議、ワシントンにて開催（12 日まで）
- 西ドイツ、連邦政府財政上の景気調整措置決定
- エカフェ第 16 回総会、バンコックにて開催（21 日まで）
- ニュージーランド政府、輸入制限の緩和を発表
- 11 日 ○インド準備銀行、商業銀行に対し貸出規制策を実施
- 13 日 ○セイロン、総選挙実施
- 15 日 ○韓国、李大統領 4 選
- ニュージーランド準備銀行、市中銀行の支払準備率引下げを実施（要求払預金の 34% を 22% へ、定期預金の 10% は据置）

- 17 日 ○アイゼンハワー米大統領、「輸出促進計画」および「移民法改正」に関する二つの特別教書を議会に提出
- 西ドイツ・ブンデスバンク、輸出信用会社に対する再割引わくを縮小
- 21 日 ○中国（台湾）、蔣総統 3 選
- 23 日～4 月 3 日
- フルシチョフ・ソ連首相、フランス訪問旅行
- 24 日 ○パキスタン中央銀行、商業銀行に対し貸出規制策を実施
- 25 日 ○イタリア、タンブローニ内閣成立
- 28 日 ○イタリア、IRI および米国 RCA 間の借款協定（25 百万ドル）調印
- 29 日 ○第 2 回大西洋経済会議、パリにて開催
- 中共・ソ連 1960 年度貿易協定調印（往復 79.2 億ルーブル；前年度比 10% 増）
- 30 日 ○中共、第 2 期全国人民代表大会第 2 回会議開催
- 31 日 ○イタリア、IMF に対しリラの平価を設定（1 米ドル = 625 リラ）